



子どもを育て、大人をつなぐ 学校のチカラ

学校が地域と一緒に活動し、子どもたちを豊かにはぐくもうとする取り組みが、市内の多くの小学校で展開されています。今回は、そうした学校で活躍する方へのインタビューを通して、「学校と地域のイマドキの関係」に迫り、その魅力をお伝えします。

この特集に関するお問い合わせは教育推進課 ☎211-3861

札幌らしい特色ある学校教育

雪・環境・読書に関する教育

↓
**地域と学校が
一緒に取り組む**

↓
札幌を愛し、豊かな感性を
持った子どもがはぐくまれる

市には現在、二百校を超える小学校があり、九万人以上の児童が通学しています。この児童たち一人一人は、将来の札幌にとって、まちづくりを担うかけがえのない存在。そして、この児童たちが将来自立し、社会を担う力を身に付ける場所の一つが学校です。市は、「札幌らしい特色ある学校教育」として、「雪」「環境」「読書」にかかわる学習を進めることで、わがまち札幌を愛し、豊かな感性を持った子どもを育てたいと考えています。こうした教育は、学校という枠を超え、保護者や地域と連携して、子どもを社会の中ではぐくむことで実現します。

学校は、地域における教育の拠点として、子どもと大人を結び付け、子どもを豊かにはぐくむ役割を担おうとしているのです。